

## 5.2026年の抱負について

### 次期中計への種まきと 健全な労使関係の継承へ

(3面からの続き)

「JR西労組が発足し、今年の12月6日で35年を迎えます。今後の労使関係について、お互いに期待することと2026年の抱負についてお聞かせください」

**羽野** 今年は、中期経営計画で掲げていたポストコロナへの挑戦が終わり、新しい中期経営計画のもと新たなステージに向かう年になると思っています。

コロナ禍を経て、私たちの価値観や働き方などが大きく変容し、DXの進展など数年前では想像できない時代になっています。人口減少、人財不足、物価高騰など私たちを取りまく環境が目まぐるしく変化しており、私たちもその急速な変化に立ち遅れることなく対応していかなければなりません。

次期中計が何年計画になるのかは、わかりませんが、次期中計期間は現中計のような大きなプロジェクトもなく、その次の中計に向けた新たな種まき期間になるのだらうと思っています。

私たちも、会社が次なる新たな種を考え、それを実行するだけでなく、私たちが次なる新たな種を考え、会社へ提案していく、まさに私たちの運動の柱である企画提案型の運動をより強く推進していく必要があると考えています。このことは、会議やグループ労組の大会に参加した際にも訴えかけてきました。

**倉坂** 当社グループを取り巻く経営環境は、少子高齢化、災害の激甚化、インフレや金利上昇などとともに、AIをはじめとするイノベーションの進展も加速しています。こうした社会の変化に対応し、鉄道の安全性や生産性の向上、事業の選択と集中に取り組むことが不可欠となります。あわせて、わが国における社会課題の解決に貢献していくところに「私

たちの志の実現に向けた機会も広がっているものと考えております。

顧客起点での経営を旨に、生活の様々なシーンで私どもが提供する商品やサービスを、ご愛顧いただけるようグループを挙げて取り組んでいきます。お客様や社会への提供価値を一層高められるよう、グループ内外の皆様との共創を通じて果敢に挑戦してまいります。

価値創造を実現する原動力となるのは、社員一人ひとりで。多様な人財がそれぞれの強みを発揮し、いきいきと活躍できる環境づくりを進め、総力を結集してグループの持続的な成長を目指していきたいと考えています。

**羽野** 現在、国では集团的労使関係、労使コミュニケーションのあり方について議論が進められており、今年の通常国会で議論される可能性が出ています。

私たちは現在のJR西労組発足以降、健全な労使関係を構築し、現在に至っています。この民主的労働運動と健全な労使関係は、当たり前のようにできたのではなく、多くの先人・先輩のご苦労があり今があると思っていますので、今後もこの状態を維持、発展させていかなければならないと考えています。

グループ会社に目を向ける、労働組合が未組織の会社はまだ多くあり、会



社の発展と働く人の幸せは労働組合がないとできないということを訴えかけ、ひとつでも労働組合が作れるように頑張っていきたいと思っています。

**倉坂** 労使関係では、一言では語れない歴史がありますが、やはりコロナ禍の厳しい経営環境において労働組合は経営上非常に大切なパートナーであることを実感しました。思い起こすと、労働組合には、特に一旦妥結した年間臨給の見直しや一時帰休の実施、社外への出向促進など苦渋の判断をしていただきました。大赤字で仕方なかったとは言え、一緒に頑張っていく素地を作ってくれたと受け止めており、今でも感謝しています。『苦楽を共にする』と言います。楽

だけを共にする関係ではなく、苦楽を共にして会社の健全な発展と社員組合員の幸せを実現していく、そういうパートナーとして、これからも一緒にやっていきたいと思っています。また、労働協約は労使の約束であり、第1条では協約の目的を明記しています。すなわち「この協約は会社・組合双方が信義誠実の原則にしたがい健全な労使関係を確立し、基幹事業である鉄道の安全を基盤として企業の健全な発展と社会的使命の達成をはかる」とともに、社員たる組合員とその家族の幸福を増進することを目的とする」ということです。



私は、福知山線列車事故当時労働組合との協議の窓口を務めていました。事故を踏まえて、安全に関わる様々な労使協議を重ね、この協約の目的に関しても、現在の文言と修正に關与してきました。「目的」を変更するのは大変なことですが、今も思いを強く持っています。今後とも皆様とは揺るぎない信頼関係を築き、企業の発展と組合員の幸福

だけを共にする関係ではなく、苦楽を共にして会社の健全な発展と社員組合員の幸せを実現していく、そういうパートナーとして、これからも一緒にやっていきたいと思っています。

第29回大階段駆け上がり大会

JR京都駅ビル

天まで翔ける！春よ来い！

26番関勝に向けて熱き闘いを繰り広げよう！

開催日時：2026年2月21日(土) 13:30~14:00

開催場所：JR京都駅ビル4階室町小路広場

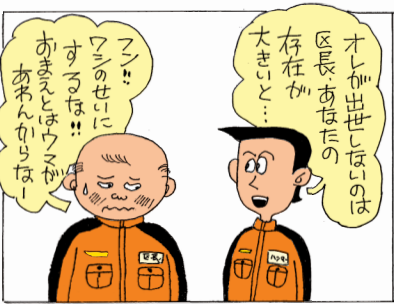
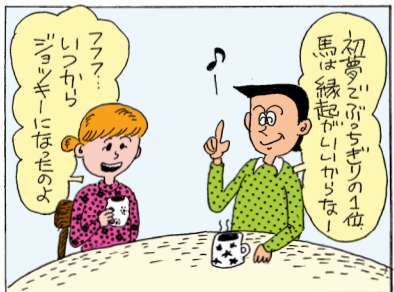
2026年3月22日(日) 18:00~

KBS京都で放送

第28回大会の成績

【団体の部】	【個人総合の部】	【個人45歳以上の部】	【個人女性の部】
1932912 (2025年3月22日)	20845 (石田謙太)	23秒37 (寺下健治)	25秒48 (大竹口真由)

主催/KBS京都 ●共催/西日本旅客鉄道労働組合 実行委員長：羽野啓之



## 中国JRバス地方本部においても 一時金を獲得!!



社員 5万円  
契約社員 2万円

JR西労組中国JRバス地方本部は、11月20日(木)、会社に対して「年間臨給で締結している賞与に加え『一時金』に関わる申入れ」を行い、11月25日(火)に団体交渉を行った。

交渉員は「第二四半期決算において、事業計画を上回ったのは要員不足という厳しい労働環境においても、全組合員が日々安全運行に誠実に取り組んだ結果であり労苦に報いるべきである」と会社に強く訴えた。

そして本日、会社より「**期末手当とは別に一時金の支給を行う**」との回答を受けた。組合員の労苦に応え、今後のモチベーションやエンゲージメントの向上に資する成果となった。

バス産業の課題を解決し明るい未来を創ろう!

### 《一時金の支給内容》 【対象者と支給額(支給日現在、在籍する社員)】

1. 社員・出向受け社員: **50,000円**

※対象外: 支給日における休職者  
(病気休職中の者、専従休職の者)

2. 契約社員・嘱託社員: **20,000円**

3. パート社員: **10,000円**

【支給日】2025年12月19日(金)

### 中央本部 主な行事予定

- 2026年「安全を誓い前進を期する集い」  
日時: 2026年1月7日(水) 18時00分～  
場所: ホテルグランヴィア大阪
- 第2回賃金対策委員会  
日時: 2026年1月14日(水) 13時30分～  
場所: 西阪急ビル地下会議室
- 216期ユニオンカレッジ 青年女性委員会 リーダーコース  
日時: 2026年1月16日(金)～17日(土)  
場所: アイアイランド
- 第2回安全対策委員会  
日時: 2026年1月20日(火) 14時00分～  
場所: 西阪急ビル地下会議室
- 第13回綱引き大会  
日時: 2026年1月21日(水)～22日(木)  
場所: 白浜町立総合体育館
- 第44回中央委員会  
日時: 1月29日(木) 13時00分～  
場所: ホテルマイステイズ 新大阪